

なごやの学童保育

市連協ニュース No.2

2016年度・6月7日発行
名古屋市学童保育連絡協議会
TEL (052)-872-1972
FAX (052)-308-3324
E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

国基準以上の助成獲得を

県連協が定期総会

愛知学童保育連絡協議会(県連協)は5月29日(日)、名古屋市瑞穂区の名古屋市博物館で2016年度総会を開きました。国基準以上の補助金拠出、100人以下の適正規模での指導員資格研修の実施などを県に求めていく2016年度活動方針や新役員体制案などを採択しました。



県連協には、名古屋市学童保育連絡協議会(市連協、加盟学童保育所数150)のほか、豊橋(24)、岡崎(5)、春日井(5)、津島(8)、安城(2)、犬山(8)、東海(2)、大府(2)、豊川市(6)、知多(1)、豊明(1)、あま(1)の計13市215カ所が加盟しています。

各市の助成制度は異なり、「国基準以外は示されず」(豊川)、「2016年度も処遇改善事業は実施されず」(豊橋)など厳しい状況報告がありました。一方「(合同雇用で)指導員の給与表(賃金体系)を統一した」(津島)、「16年度に処遇改善事業を実施し直接補助も6年生まで引き上げた」(春日井)など明るい話題もありました。

政令指定都市の名古屋市では14年度まで、学童保育助成金を「国1/3、市2/3」の比率で負担してい

ました。15年度から子ども・子育て支援新制度により「国1/3、県1/3、市1/3」となりました。従来以上に他市と協力し、施策充実を県に働きかけることが重要です。ご理解、ご協力をお願いします。

総会では最後に江坂佳代子会長が「全国研(全国学童保育研究集会 in あいち)をとにかく頑張ろう」と訴え、成功を誓い合いました。

.....

役割分担、着々 Aichi

全国学童保育研究集会 in あいち 実行委

全国の学童保育関係者が集い、保育のあり方や子どもの成長、学童保育所の運営や制度など、さまざまなテーマを学びあう「全国学童保育研究集会」が今年は10月29日(土)、30日(日)に愛知県で開かれます。県内の各学童保育所から選ばれた委員が毎月、会議を開いて準備を進めています。

本番では、前日の会場設営に始まり、当日の案内や受付、行事進行、保育、弁当配布から最後の片付けまで、大別して40近い役割分担と数百人の要員が必要です。5月29日(日)の第3回実行委員会で役割分担の一部を決定しました。

市・区単位で役割分担を一緒にしたいところも多く、希望が重なった市と区が参加者全員の前でじゃ



んげんで決着を付ける一幕もあり、盛り上がりました。歓迎行事の内容もほぼ決まり、今後は

Tシャツのデザインなども決めていきます。力を合わせ、楽しみながら研究集会を成功させましょう。

2016年度選出区別・役員体制

各区の選出役員です。よろしくお願ひします。

※保=保護者、指=指導員、OB=保護者 OB、合同=合同雇用部会

千種	梶原健悟・保	東	保永雅行(副会長) 指		
北	岡田祥宏・指	西	(輪番)		
中村	鈴木佳代・指	昭和	松本佐織・指	瑞穂	
熱田	杉林弓子・保	中川		港	長坂智志・指
南		守山	吉村守正(会計) 保		
緑	吉田徹司・保、細井雅弘・保、藤田知典・指				
名東	北岡克幸・保	天白	和田峰一・保	合同	亀井達也・指
【役員推薦】					
池田徹弘(会長) 緑 OB		青崎美紀(副会長) 中川 OB			
松尾博(副会長) 緑 OB		賀屋哲男(事務局次長) 専従			
金澄枝(事務局次長) 北 OB		安井昭政(事務局次長) 中川 OB			
村国哲也(事務局次長) 名東 OB		出水昭司・緑 OB			
大久保憲・天白・保		久野裕之・天白・保			
田中勝美・緑・保		三輪早矢加・昭和・保			

保育の質向上を目指す

専門部紹介・第1回 指導員部会

学童保育にはさまざまな課題があります。市連協では役員全体での活動に加え、各専門部で特定テーマに取り組んでいます。専門部を順次紹介します。第1回は指導員部会。

指導員部会は、学童保育指導員の仕事の中身の確立を目指して活動しています。現在は、北、西、昭和、中川、瑞穂、緑、守山、名東、中村の計9区の指導員と市連協専従職員で構成しています。

毎月第4水曜日の20時から、金山の労働会館で部会を開いています。参加している指導員はベテランから新人まで年齢・経験年数もさまざま。幅広く、いろんな指導員の考えを集めて、交流し、活動しています。

活動は、その時その時の実情に合った保育交流(保育現場での事例紹介と意見交換)を中心にしています。

これまでの指導員部会の主な活動は次の通りです。

- ① 午前中の仕事のひとつである合同職員会議の実態調査・分析をおこない、各区へ情報を伝える
- ② 保育内容向上につながるよう、保育実践を記録し、その実践を検討する
- ③ 現職教育の中身と、各区での実態調査・分析
- ④ 毎月の避難訓練の交流
- ⑤ 施設見学会
- ⑥ 実践検討

今後は、さらに内容を深めて、指導員を支えていけるような活動をしていきたいと考えています。各区から1名以上の指導員さんに、指導員部会に参加していただき、一緒に保育の質の向上を目指し、学童保育の理解と、学童保育所の存続につなげていけたらと思います。指導員さんの新たな参加をお待ちしています。

ほいく誌ってなあに？

『日本の学童ほいく』誌は唯一の学童保育月刊誌です。子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちと一っしょに毎日を過ごしている学童保育指導員の生の声がいっぱい詰まっています。

学童保育で過ごす子どもたちの様子も、カラー写真や作文・イラストなどからうかがえます。「学童保育がよくわかる“はじめの一步”」としてオススメの一冊ですよ。



みんなで読んで、語り合って、楽しみながら、よりよい学童保育をつくっていくために、『日本の学童ほいく』誌をぜひ活用しましょう!!

◇2016年度特集テーマ◇

2016年

- 4月号春●あらたなスタート学童保育
- 5月号つながる“わ”父母会
- 6月号伝えることから始まる「伝えあい」
- 7月号子どもの身体
- 8月号学童保育指導員の仕事と労働条件
- 9月号発達障害を学ぶ
- 10月号子どもと食 みんなで食べるとおいしいね♪
- 11月号子どもをまんやかに指導員のチームワーク
- 12月号考えようこれからの学童保育
—子ども子育て支援新制度—

2017年

- 1月号気持ちと思いを交わす
—子どもとコミュニケーション—
- 2月号第51回全国学童保育研究集会 in あいち
- 3月号学校と学童保育の連携

●1冊340円 ●A5サイズ ●毎月15日発行
お申込みは、各学童保育の担当者の方、または愛知学童保育連絡協議会まで。
TEL 052-872-1972 FAX 052-308-3324
e-mail:aichigakudou@gakudou.biz